

第43回

参加無料・当日受付

国際日本文学研究集会

令和
元年

11月16日(土)・17日(日)

発表の一部はライブ配信を行う予定です。



場 所：国文学研究資料館大会議室（東京都立川市緑町10-3）
主 催：大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館

『浦しま』（国文学研究資料館蔵）DOI: <https://doi.org/10.20730/200017771>（当該画像: <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200017771/viewer/17>）



連続開催 令和元（2019）年11月15日（金）
第5回日本語の歴史的典籍国際研究集会



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館
National Institute of Japanese Literature

〒190-0014 東京都立川市緑町10-3
Web: <https://www.nijl.ac.jp/>
問い合わせ先：国際日本文学研究集会事務局
E-mail: icjl@nijl.ac.jp

受付開始 12:30～

SAITO Maori (サイトウ マオリ)
総合司会 齋藤 真麻理 (国文学研究資料館教授)Robert CAMPBELL
開会挨拶 ロバート キャンベル (国文学研究資料館長) 13:00～13:10【第1セッション】 司会 KNOTT Jeffrey
ノット ジェフリー (国文学研究資料館助教)研究発表
[1] 死を描く場面における「情動性」と「感情の共同体」：
夕顔と紫の上を中心に 13:10～13:40コモバ エカテリーナ
KOMOVA Ekaterina (早稲田大学文学学術院訪問学者/コロンビア大学博士課程)[2] 物語文学における「あざやか」な人物たち 13:40～14:10
— 『源氏物語』を中心に—MA Ruhui (マ ジョケイ)
馬 如慧 (早稲田大学文学学術院リサーチフェロー/北京外国語大学日本学研究
センター博士後期課程)[3] 平安朝文人における過去と現在の意識 14:10～14:40
漢詩集序をテキスト遺産言説の一例としてジェルリーニ エドアルド
GERLINI Edoardo (早稲田大学文学学術院訪問学者/ヴェネツィア・カフォスカリ
大学研究員)

休憩 (15分) 14:40～14:55

【ショートセッション】 司会 DAVIN Didier
ダヴァン ディディエ (国文学研究資料館准教授)

① ベトナム語の漢文訓読研究をどのように進展させるのか 14:55～15:10

グエン・ティエ・トゥー フェン
NGUYEN THI THU Huyen (富山大学大学院修士課程)② ジェンダーと歴史の語り方 15:10～15:25
— 平安・中世における和文の問題点—マクネリー キンバリー
MC NELLY Kimberly (早稲田大学文学学術院リサーチフェロー/UCLA大学院博士
後期課程)

③ アメリカにおける川端康成『山の音』の翻訳と受容 15:25～15:40

HAYAKAWA Yumiko (ハヤカワ ユミコ)
早川友実子 (早稲田大学大学院博士後期課程)

④ 桐野夏生作品をめぐる国際的な視座とその可能性 15:40～15:55

KOMAI sachi (コマイ サチ)
駒居 幸 (筑波大学人文社会学系特任研究員)

⑤ 漱石の『趣味の遺伝』の実験工房について 15:55～16:10

タッデイ マルコ
TADDEI Marco (ベルガモ大学外国語外国文化学部日本語科日本語日文学研究者)

休憩 (15分) 16:10～16:25

【第2セッション】 司会 KONO Kimiko (コノ キミコ)
河野 貴美子 (早稲田大学文学学術院教授)研究発表
[4] 室町時代の能の構造解析
— その積層性と多様性を中心にして— 16:25～16:55ビュエニユ マガリ
BUGNE Magali (早稲田大学所属日本学術振興会外国人特別研究員PD/日仏会館・
フランス国立日本研究所(UMIFRE19フランス外務省・国立科学研究センター) 連携研究員)

[5] 大蔵虎明『わらんべ草』の『伊曾保物語』受容 16:55～17:25

LEE taekjin (イ テクジン)
李 澤珍 (東京大学大学院博士課程)

事務連絡・会場移動 17:25

研究者交流会 17:45～

受付開始 9:30～

UNNO Keisuke (ウンノ ケイスケ)
総合司会 海野 圭介 (国文学研究資料館教授)【第3セッション】 司会 BJOERK Tove Johanna
ビュールク トーヴェ ヨハンナ (埼玉大学人文社会科学研究所准教授)研究発表
[6] 連歌百韻の注釈・翻訳への提言 10:00～10:30
— 「切れ」と「付け」をどう表すか—IKUTA Yoshiho (イクタ ヨシホ)
生田 慶穂 (お茶の水女子大学リサーチフェロー)

[7] 『妓者呼子鳥』の後続作品受容 10:30～11:00

パッローネ クリスティアン
PALLONE Cristian (ベルガモ大学外国語外国文学外国文化学科博士研究員)

休憩 (10分) 11:00～11:10

[8] 近世日本の唐話学と訳学— 「訳社」を中心に— 11:10～11:40

YUAN Ye (エン ヨウ)
袁 葉 (大阪大学特任研究員/コロンビア大学博士課程)[9] 近世地方寺院における住僧の修学と法流の展開 11:40～12:10
— 覚城院蔵聖教を例にして—KASHIWABARA Yasuto (カシワバラ ヤスト)
柏原 康人 (大阪大谷大学 非常勤講師/園田学園女子大学社会連携推進センター
学術研究員)

休憩 (110分) 昼食 12:10～14:00

【ポスターセッション】 12:10～14:00

※11月16日(土) 13:00から11月17日(日) 15:00まで掲示しています。

・横溝正史『執念』の考察— 影響受容関係から独自のテーマへ—

パク ヨンソン
PARK Yeongseon (二松学舎大学大学院博士後期課程)・浪人のテキスト：忠臣蔵、クロスメディア化と江戸時代のファン
サービス文化フォーリー アリシア
FOLEY Alicia (神戸女学院大学留学生・研究者/ウィスコンシン大学マディソン校
大学院博士課程)

・軍記物語における「人間」の語の用例について

YANG qin (ヨウ キン)
楊 琴 (奈良女子大学大学院博士後期課程)

・坂口安吾「Pierre Philosophale」考— 神秘性と〈分身〉—

FUJITA Erika (フジタ エリカ)
藤田 絵理香 (埼玉大学大学院博士後期課程)

【特別講演】

総合司会挨拶 14:00～14:05

『松蔭日記』とその読者 14:05～15:05

Gaye ROWLEY
ゲイ ローリー (早稲田大学法学学術院教授)

質疑応答 15:05～15:30

講評及び閉会挨拶 15:30～15:45
坂本 信道 (国文学研究資料館国際連携委員長/京都女子大学文学部教授)

SAKAMOTO Nobuyuki (サカモト ノブユキ)